

大綱主要項目		事務事業の効率化				
具体的な項目		民間委託等の推進				
実施計画項目		PFI手法の活用				
担当課		プロジェクト推進課	関係課	総合政策課		
No. III-2-(2)		令和3	4	5	6	7
実施年度	実施計画	○	○	○	○	○
	効果又は 数値目標	導入検討	導入検討	導入検討	導入検討	導入検討
進捗 状況	実績	A	A			
	効果又は 数値実績	事業者選定 契約締結	事業 実施中			
現状と課題						
大規模な公共施設整備事業においては、PFI等の民間活力導入手法によって、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力の活用を検討し、事業コストの削減と、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る必要がある。						
課題解決に向けた方策						
整備する施設の規模、内容について整理した上で、従来方式とPFI等の事業方式のVFM比較を行うため、民間活力導入可能性調査を実施し、事業コストの削減とサービスの効率化を図ることができる事業手法を検証し、市にとって最も有効な事業手法を選定する。						
具体的な取組内容						
【令和4年度】 ・複合交流拠点整備運営事業においては、DBO方式を採用して事業が進捗中である。令和7年春の開館に向けて、実施設計が完了し、建設工事に着工した。						
実績考察（理由、改善すべき点等）						
【令和4年度】 ・複合交流拠点整備運営事業では、PFIに類似するDBO方式の採用により、事業費の削減を図ったことから、今後の大規模な公共施設整備事業にあたっては、従来方式とPFI等の事業方式の比較検討を行い、事業コストの削減を図る必要がある。						
考察を踏まえての今後の取組方針						
【令和5年度以降】 ・公共施設整備の際は、施設の状況、整備の内容等を判断しながら、その都度、PFI等のPPP（公民連携）手法の導入が適切であるか判断を行うとともに、総合的に事業手法を検討していく。 ・複合交流拠点整備事業では、DBO方式によって事業費の削減と、民間のノウハウを活かした市民サービスの向上を図っていく。						